



2008～09 年度
国際ロータリー会長

李 東 建

Weekly Report Niigata



2008～09 年度
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 6 月第 1 例会 (2009.6.2) No.2802

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 柴田 史郎会長挨拶

本日は第一例会ですので、いつものように6月のクラブ行事予定表及び綱領・4つのテスト・モットーなどをプリントしたものをお手元に配布しました。

今日のプリントには綱領・4つのテスト・モットーのほかに、23-34決議文のレジュームも加えました。

23-34決議文が重要である理由は、私共が自分のクラブにおいて、ロータリー活動を行う上で理解しておかなければならない基本的な指針が決議文の中に述べられているからです。

一つは、ロータリー哲学の定義が書いてあること。

二つ目は、国際ロータリーと各ロータリークラブとの関係について述べていることです。各ロータリークラブこそがロータリー運動の核となるべきものであって、その自主的な活動に対し国際ロータリーは、何かを強制したり、命じたり、禁じたりする事は出来ないと明記してあります(各ロータリークラブの活動が、ロータリーの綱領や定款から逸脱していないことが条件ですが・・・)。つまり、各クラブあってこそこの国際ロータリーなのであって、その逆つまり国際ロータリーの下に各ロータリークラブがあるのではない。上下関係にあるのでもないし、上意下達の組織などではないということです。

そして、三つ目はロータリーの各クラブが社会奉仕活動を行う場合の指針が縷々述べられていることです。

この決議文は、1923年セントルイス大会で決議され、その後4回の部分的な改定を経て現行の決議文となって今でも生きています。

本文(全文)は冊子「手続き要覧」に載っていますので、ご覧になりたい方は事務局にお問い合わせください。

ロータリーの綱領・4つのテスト・モットーなどに加えて、23-34決議文をも正しく理解することが必要です。それにより私共は、クラブにおいてロータリー活動を行うに当たっての正しい指針を読み取ることができるからです。

(3) 米山奨学生挨拶、奨学金伝達

アロンソ・デ・レオン・ダビド君

(4) 委員会報告

・臼倉淳親睦委員

5月31日(日)新潟ロータリークラブチャリティコンペを紫雲 GC 加治川コースで開催、16名の参加を戴きました。朝からの雨でしたが、皆さんの普段の行ないで2～3ホールで雨もあがり、楽しいゴルフが出来ました。木の枝にひっかかり落ちてこなかったり、3連発池がチャも含め、いろいろな珍プレー、好プレーがありました。先輩方のお元氣な姿を見て改めて元氣をいただきました。プレー後、イタリア軒で懇親会および表彰式を行いました。高橋 清文さんが優勝、地主さんが準優勝でした。多くの方から賞品ご提供もいただき、ありがとうございました。皆さんのご協力をいただき、何とか実施することができました。感謝申しあげます。チャリティーも全員が気持ちよく満額を拠出いただきまして、青少年育成基金へ17000円、R 財団奨学金へ17000円。米山奨学金へ17000円、合計48000円。またニコニコボックスに29369円を寄付致します。

・得永哲史青少年交換委員長

次年度、塚田さんのご子息がブラジルへ一年交換学生として派遣されますのでテノ君という16歳の学生が来日します。カウンセラーは福地 利明さんにお引受戴きました。ホストファミリーを受けて下さる方は是非御連絡をお願い致します。

(5) 幹事報告（石井 和弘次期幹事）

新年度の各委員長さんは6月10日までに事業計画書をメールで事務局へ送信願います。

(6) 会員スピーチ

「ロータリー情報のお話」

R情報委員長 小 山 楯 夫 君

1月6日 理事会報告 出席者 9名

- 1、新会員審査の件＝承認
(株)NTTドコモ 新潟支店
支店長 田中 和重 君
- 2、ガバナーノミニー選出の件
状況報告、継続審議
- 3、6月のプログラム＝承認
6月＝ロータリー親睦活動月間
- 6月 2日 R情報のお話
R情報委員長 小山 楯夫君
- 6月 9日 卓話「水と土の芸術祭」
新潟市長 篠田 昭 氏
- 6月16日 卓話「日本海沿岸自動車道について」
国土交通省北陸地方整備局
新潟国道事務所所長 森若 峰存 氏
- 6月23日 卓話「スポーツ記者について」
日本経済新聞社
新潟支局長 北川 和徳 氏
- 6月30日 納会例会
18:30 金寿
- 4、その他
 - ・小木 順一郎氏作成 ロシア連邦極東地方ロータリークラブとの交流事始記録データの件＝ データで保存、理事にコピー配布
 - ・事務局運営について＝状況報告

6月9日の例会予定

卓話「水と土の芸術祭」

新潟市市長 篠 田 昭 氏